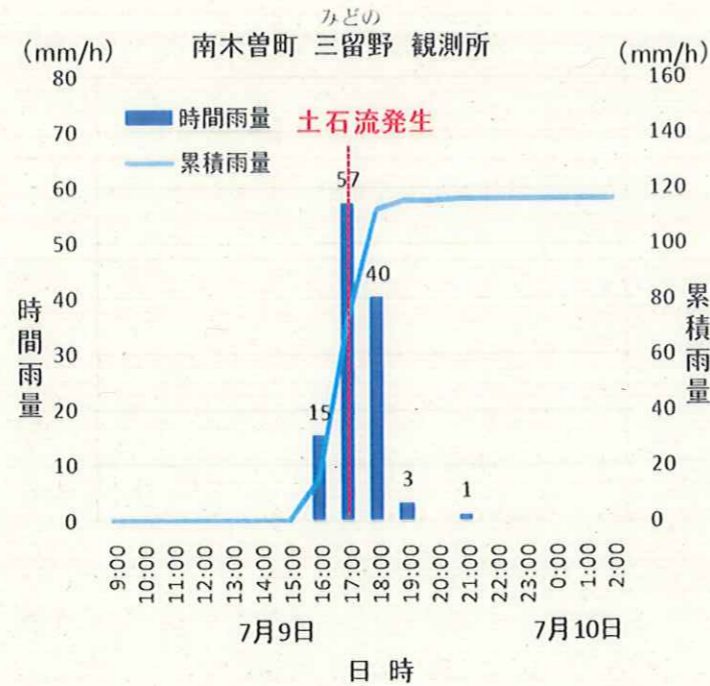


平成 26 年台風第 8 号に伴う大雨災害による南木曾町の影響及び対応の状況について

1 降雨の状況

7月9日の夕方から降り出した雨は、16時からの3時間で112mmの降水量を記録した。17:40頃 梨子沢で土石流が発生し、下流域に被害を及ぼした。



2 被害の状況

(1) 人的・建物の被害状況 (南木曾町) (8月26日 現在)

区 分		被害数
人的被害	死亡	1名
	軽傷	3名
住家被害	全壊	10棟
	半壊	0棟
	一部損壊	3棟
	床上浸水	3棟
	床下浸水	6棟

(2) 交通の被害状況

区 分	被害状況	運行・通行状況
鉄道	被災区間 中央本線 南木曾駅～十二兼駅	梨沢橋梁の橋桁が土石流により流出 7月9日 発災後から、特急しなの運休 7月14日から 坂下駅～野尻駅間を、バス代行輸送により運行実施 8月6日 通常運行
道路	規制区間 国道19号 南木曾町読書	南木曾町読書の梨子沢等で発生した土石流の流入 7月9日 18:10から通行止め 7月10日 02:00区間縮小 7月12日 07:00通行止解除 現在規制区間なし

3 避難の状況

区 分	発令対象	避難状況
避難指示	南木曾町読書地区 (坂の下・東町地区) 7月9日 17:41 115世帯 282名 7月12日 8:30 全解除	7月9日 17:50 避難所7箇所 避難者241世帯 534名 7月11日 15:00 避難所4箇所 避難者133世帯、241名
避難勧告	南木曾町読書地区 (坂の下・東町地区除く) 7月9日 17:50 558世帯 1,363名 7月9日 22:40 一部解除 145世帯 347名 7月11日 9:00 一部解除 224世帯 592名 7月12日 8:30 全解除 189世帯 424名	7月12日 21:00 避難所2箇所 避難者65名 7月16日 08:00 避難所1箇所 避難者4名 7月27日 19:00 避難所閉鎖、避難者0名
避難準備情報	南木曾町妻籠地区ほか 7月9日 17:50 495世帯 1,179名 7月9日 20:30 全解除 南木曾町坂の下・東町地区 7月13日 17:30 115世帯 282名 7月14日 09:53 全解除	

4 県等の対応状況

日 時	実施内容
7月9日(水)	
17:15	警報発表を受け、県危機管理部宿直体制の強化(2人→8人)
17:40頃	南木曾町 読書 梨子沢 で土石流発生
17:41	南木曾町災害対策本部設置
18:18	県警機動隊11名 救助活動のため出動
18:57	県は警戒二次体制へ強化 木曾地方事務所に体制強化及び南木曾町への情報連絡員の派遣指示 下伊那地方事務所に南木曾町への情報連絡員の派遣指示
19:15	JR東海から十二兼駅(南木曾町)の特急乗客への食料支援の要請 木曾地方事務所の備蓄物資を南木曾町へ搬送指示 【県備蓄品供与】 アルファ化米: JR十二兼駅 150食、南木曾町役場 200食 飲料水(500ml): JR十二兼駅 192本、南木曾町役場 96本
19:40	県災害対策本部設置
20:12	自衛隊長野地方協力本部 連絡員2名受入れ
20:20	日本赤十字社に被災地へ毛布150枚、安眠セット30個提供依頼(木曾町日赤倉庫発)
21:15	第1回県災害対策本部員会議 開催
22:00	木曾地方事務所職員 3名南木曾町役場に到着
23:00	南木曾町に災害救助法適用 同時にプレスリリース実施
23:30	第13普通科連隊 連絡員2名受入れ
7月10日(木)	
0:20	県警機動隊による現場周辺の安否確認終了
1:30	国土交通省のヘリ現地調査に木曾建設事務所職員2名を派遣
5:30	県警ヘリによる上空からの災害状況調査実施 (災害対策本部員会議でヘリテレ映像により災害現場を確認) 木曾建設事務所の職員4名を道路の災害状況調査に派遣 木曾建設事務所の職員8名を梨子沢及び大沢田沢の調査に派遣
6:00	避難者307名に食料提供(木曾地方事務所備蓄物資等)
6:30	必要物資(毛布)の調達
7:30	木曾保健福祉事務所の保健師を南木曾町に派遣(他の保健福祉事務所からの応援も得て、翌日以降も派遣継続)
8:30	第2回県災害対策本部員会議 開催
9:30	和田副知事による被災状況現地調査実施
12:30	日本赤十字社に毛布200枚、安眠セット40個提供依頼(木曾町日赤倉庫発) 建設部職員を情報収集・技術支援のため昼夜交代で2名ずつ南木曾町へ派遣(以降毎日継続)
14:30	松本地方事務所の備蓄品(飲料水500ml 960本)の南木曾町への搬送指示
15:00	第3回県災害対策本部員会議 開催
24:00	警戒二次体制、県危機管理部宿直体制の強化を継続中 教育委員会がスクールカウンセラーを南木曾小学校・中学校に派遣 避難所に食料供給(夕食550食) ※県から協定業者へ要請

日 時	実施内容
7月11日(金)	
11:00	木曾建設事務所職員4名が河川災害調査を実施(防災サポートアドバイザー2名が協力)
13:30	避難所に獣医師、薬剤師派遣 避難所に物資提供(避難所用間仕切20セット) 避難所にリース物資提供(大型扇風機12機、冷風機8機)
13:30	政府調査団へ要望書提出
15:30	第4回県災害対策本部員会議 開催 JR東海に鉄道不通区間のバス代行輸送及び早期復旧を要請 避難所に食料供給(朝食400食、昼食150食、夕食350食)
7月12日(土)	
8:30	建設部・木曾建設事務所職員3名が緊急調査を実施(砂防ボランティア調査に同行)
10:30	県警ヘリによる現地調査
11:00	避難所に物資提供(氷1kg 3,000個)
14:30	避難所に物資提供(避難所用室内テント10セット、剣スコップ30本、角スコップ30本、鋤簾30本、バケツ30個、ブルーシート200枚) 避難所に食料供給(朝食350食、昼食350食)
7月13日(日)	
11:00	長野地方事務所の備蓄物資(アルファ化米1,000食)を木曾地方事務所に搬入 避難所にリース物資提供(簡易ベッド10台) 建築住宅課職員を住宅の危険度調査のため、南木曾町に派遣
7月14日(月)	
13:00	精神保健福祉センター職員を、南木曾町役場・南木曾小学校に派遣 木曾農業改良普及センターが、南木曾町役場内に相談窓口を開設 避難所にリース物資提供(仮設風呂1台)
7月15日(火)	
	県警本部長による被災状況現地調査
7月16日(水)	
9:30	第5回県災害対策本部員会議 開催 義援金の募集開始(県庁及び県合同庁舎に募金箱を設置) 避難所にリース物資提供(洗濯機1台、乾燥機1台) 水道技術職員を上水道被災施設復旧のため南木曾町に派遣 木曾地方事務所が、南木曾町役場内に住宅相談窓口を開設 JR東海に被災区間の早期の運行再開について要望書を提出
7月18日(金)	
	土木技術職員を災害関係の技術的支援のため南木曾町に派遣
7月22日(火)	
	南木曾町に被災者生活再建支援法適用 同時にプレスリリース実施
7月28日(月)	
10:00	南木曾町災害対策本部廃止 → 南木曾町復興対策本部に移行
7月30日(水)	
15:00	第6回県災害対策本部員会議 開催
15:30	県災害対策本部廃止

平成26年7月9日 大雨災害 被害状況



土石流発生 7月9日(水)17:40頃
被害状況
人の被害: 死亡 1名、軽傷 3名
住家被害: 全壊 10棟、半壊 0棟、一部損壊 3棟
避難指示: 115世帯 282人(7/9 17:41)
避難勧告: 558世帯1,363人(7/9 17:50)

